

# 集落

## 集落行事



沖永良部島には大小42の字(あざ。集落のこと)があります。鹿児島県本土より沖縄本島に近いこともあり、島に伝わる民謡や踊り等も琉球文化の影響を強く受けています。

字には1年を通じて集落行事があり、小規模の小学校では、入学式、運動会などの学校行事も集落行事のひとつとして捉えています。児童数・生徒数が少ないからこそ、幼児からお年寄りまでの地域住民がこぞって参加して会場を盛り上げます。

また、年に数回、清掃の日を設定している集落も多いです。



## 集落の主な行事

1月	年始式、町内一周駅伝大会、年の祝い 墓正月	7月	川祭り
2月		8月	盆踊り、夏祭り
3月	卒業合同祝い、教職員送別会	9月	敬老のお祝い
4月	入学合同祝い、老人クラブ総会	10月	運動会
5月	バレーボール大会、婦人会総会	11月	グラウンドゴルフ大会
6月	集落総会	12月	忘年会



## 集落組織



婦人会、青年団、壮年団、老人クラブなどの組織があります。各組織の代表と自治会長に当たる区長、又は小組合長が集まる役員会で集落運営を協議したのち、年に数回、集落民全員による総会を開催するところが多いです。参加は強制ではありませんが、参加することが期待されており、参加することで地域との親睦を深めることができます。

## 集落運営費



集金される「字(あざ)費」と、お祭り等で集められる「寄付」に分かれます。

### 字(あざ)費

自治会費のことで、各字で集金します。集められた字費の用途は字によってさまざまです。金額も4,000円～15,000円前後/世帯/年、また、集金も月ごとから年一括と字によってバラバラです。

住まいを決める時に字の区長または小組合長に集落行事や字費について予め確認することをお勧めします。

### 寄付

主に祭りで集められます。頂いた寄付金は字運営費等に使用されます。

金額は1世帯当たり1,000円～1万円ですが、字費と違い、決まっているわけではありません。



# 沖永良部島移住ガイド

沖永良部島 移住

沖永良部島は北緯27度、東経128度付近、鹿児島市から南南西に540km、沖縄本島から60km、与論島と徳之島の間に位置しています。面積は93.65km<sup>2</sup>、周囲は55.8km、最高標高は240mの大山。隆起サンゴ礁の島で、ハブは生息していません。

農業が盛んな島で、赤土土壤を利用したサトウキビやジャガイモの生産、花卉栽培で有名です。また地下には昇竜洞とよばれる有名な鍾乳洞をはじめ、300近い鍾乳洞が広がっていると言われています。

白砂の海岸もありますが、隆起サンゴ礁の断崖や磯が多いのが特徴です。その地形を荒波が侵食してできた、潮吹き洞窟フーチャヤ、迫力ある田皆(たみな)岬の断崖の景観などが見どころとして知られています。

奄美大島 1500km  
喜界島 1000km  
徳之島 500km  
沖永良部島  
与論島

奄美大島  
喜界島  
徳之島  
沖永良部島  
与論島

鹿児島、那覇から飛行機 (那覇から1時間)  
鹿児島、那覇からフェリー (那覇から7時間)

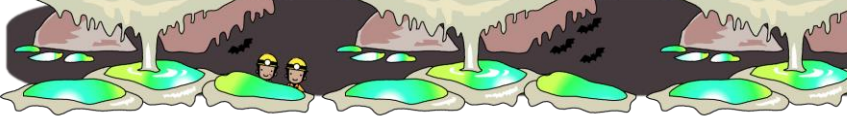
発行: 奄美群島広域事務組合  
〒894-0023  
鹿児島県奄美市名瀬永田町18番6号

TEL: 0997-52-6032  
FAX: 0997-52-9618  
URL: <http://www.amami.or.jp/>

<発行: 2023年9月>







沖永良部島には、和泊町(わどまりちょう)、知名町(ちなちょう)の2町、42の字(集落)があり、約1.2万人が住んでいます。

(2023/8/1現在)

	人口	世帯数
和泊町	6,160人	3,271世帯
知名町	5,556人	2,996世帯
合計	11,716人	6,267世帯

島の太平洋側の海岸線を県道84号線、東シナ海側を県道620号線が走り、いくつかの県道が島を横断しています。島民のほとんどがマイカーを利用していますが、路線バスも運行しています。



詳しくは↑

ファミレスはないですが、小さな家電量販店、スーパー、ホームセンター、コンビニエンスストア、ドラッグストア、直売所等の小売店があります。

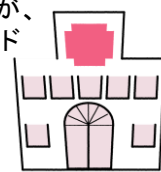
ネット通販は配達までに数日かかり、離島送料を加算するところが多いです。

HEALTHCARE

詳しくは↓



知名町に総合病院の徳洲会病院があり、診療所は両町を合わせて5つあります。また、鹿児島県立大島病院(奄美市名瀬)が奄美群島をカバーする「奄美ドクターヘリ」を運航していますが、地理的条件により沖永良部島では沖縄からのドクターヘリも運航しています。



COMMUNICATION

携帯電話は概ね全島をカバーし、インターネットは光回線が標準となっています。汚水処理普及率は、和泊町が99.0%、知名町が94.0%となっています。

詳しくは↓



移住に関する行政窓口



**和泊町 企画課**  
〒891-9192  
鹿児島県大島郡和泊町和泊10  
TEL: 0997-84-3512  
FAX: 0997-81-4477  
HP: <http://www.town.wadamari.lg.jp/>



**知名町 企画振興課**  
〒891-9295  
鹿児島県大島郡知名町知名307  
TEL: 0997-84-3162  
FAX: 0997-84-3172  
HP: <http://www.town.china.lg.jp/>

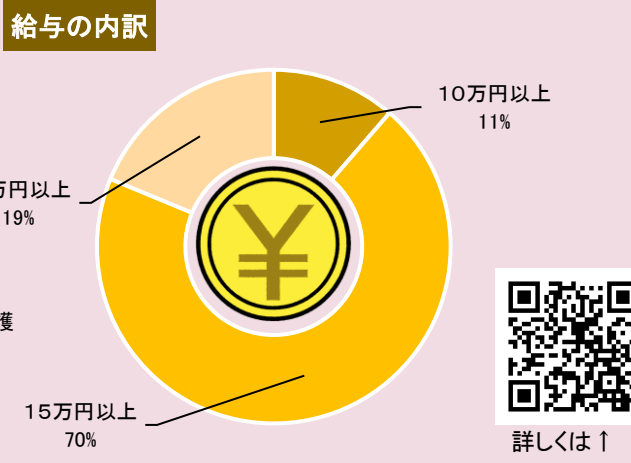
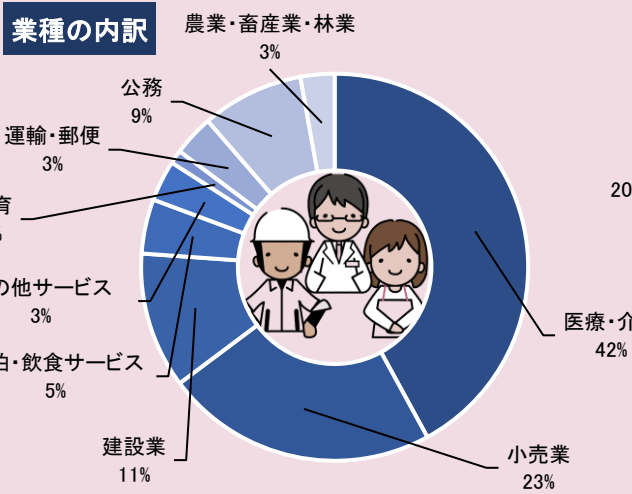


和泊町の移住情報サイト「くらすわどまり」  
<http://www.kurasu-wadamari.info/>

仕事に関する留意点

ハローワークが役場ホームページや「くらすわどまり」に掲載される求人情報がほぼ全ての求人になります。ハローワークは月2回求人情報を発行しています。求人は小売業、医療・介護、建設関係の仕事が中心で、賃金は都市圏より低いです。さらに、地元住民は知人等からの紹介で就職する場合があります。

移住後に自分で起業を始める人もおり、島にはなかった料理店やサービスを始め、成功した事例もあります。行政の起業・就労支援もあるので、自営の道も視野に入れるのも一つでしょう。「移住してよかった」と言えるように、事前に情報収集や起業・就労までの計画を立てましょう。



ハローワークの求人情報(2022/1~2022/12)を網羅りやかなやが独自集計しています。複数掲載された求人は重複集計しています。月額賃金の最低保証金額で、基本給+歩合給の場合は基本給で集計しています。歩合給のみの求人は集計から除外しています。

教育機関や行政の子育て支援は

移住体験プログラムは

住まいの現状

老朽化した空き家は多いですが、流通物件は極めて少ないです。空き家だからと言って貸してくれるわけではなく、地元の人々の紹介が必要だったりします。希望通りの物件に巡り合うためには時間がかかることもあります。

- 沖永良部島の不動産事情
- 築古物件が主流
  - 中心部以外は相対取引が主流



←詳しくは



住まいに関する行政支援情報は

不動産物件情報は

定住促進住宅や移住体験住宅、リフォーム助成など、住宅や移住に関しての行政支援施策が掲載されています。